

# 16 「世界移民マップ」2018年作成版

## 移民マップ「ベトナムからアメリカ」

1組 秋田 浅井 石橋 上之勝 大塚 大坪 大原 奥村 加嶋 菊地 熊澤 坂本 佐々木 柴田 杉谷 田中 寺尾 鍋島 成嶋 西岡 ニバ 原 彦田 堀口 丸山 三木 椴木 森光 安井 篁 山田 山本

### ベトナムからアメリカへの人口移動

兵庫県立国際高等学校 (1年1組「ベトナムからアメリカ」班)

#### ベトナムからアメリカへの人口移動の推移

U.S. Department of Justice Immigration and Naturalization Service「2001 Statistical Yearbook of the Immigration and Naturalization Service」(2003) p. 21-22.を改変

#### 移民マップ

#### 移出の要因

①内戦の原因  
自由主義のアメリカと共産主義の北ベトナムが存在したため内戦が起こった。

②どのように終結したか  
その後、パリ協定によって米軍撤退が実施された後、北ベトナムが南に対する武力解放をして内戦が終結した。

③戦争後に何が起こったのか  
戦後、南ベトナムが敗れたことでアメリカ軍に参与していた人々は迫害を受ける恐れがあった。そして、南部で急激な社会主義的改造が行われ、大量のベトナム難民が流出した。

#### 移入の要因

「アメリカの移民政策とは？」  
→導入と排斥を交互に繰り返しかえす政策

・今までの入植者  
イギリス人・イギリス人(ピューリタン人)・オランダ人・スウェーデン人・ドイツ人・フランス人・アイルランド人・南ヨーロッパ(イタリア・ギリシア)・東ヨーロッパ(ポーランド・ロシア)・ユダヤ人・中国人・日本人

※・・・WASP(White Anglo Saxon Protestant)  
=古くからアメリカに定住し、その後、アメリカ社会の上層階級となった人々

#### 考察

- ・ベトナム ベトナム戦争により迫害を受ける恐れのあるベトナム難民が流出したから
- ・アメリカ 1965年の移民法で、難民の家族の受け入れが可能になったこれにより受け入れた難民の数よりもその家族の数が多くなった

	ベトナム	アメリカ
1960年代	難民	人道的配慮
	↓	
1965年～	家族呼び寄せ	

#### 1924年移民法

アジア諸国からの移民は全面的に禁止  
当時のアメリカ人口の圧倒的多数を占める北ヨーロッパ諸国以外の移民を事実上消滅させるもの

#### 1965年移民法

- ・それまでの「アメリカ市民の出身国別別出制度」を撤廃
- ・一歳当たり一律半額に2万人までの移民枠を導入し、夏半額(ヨーロッパ、アジア、アフリカ)から17万人、西半額(中南アメリカ)から13万人の枠を設けた
- ・「優先権制度」
- ・アメリカ市民の成人で未婚の子供、在住外国人の配偶者で未婚の子供・専門職者、アメリカ市民の子供・アメリカ市民の成人の兄弟姉妹・不足分の労働者・難民

#### 1986年移民法

- ・不法移民であることを承知の上で雇った雇用者への罰則が法制化された
- ・一定の期間不法にアメリカに居住していたことを証明することができた移民への通称「アムネ스티」とも呼ばれる合法化が実施された

## 移民マップ「カンボジアからマレーシア」

2 組 青山 秋吉 浅香 畦間 池田 稲垣 岩浅 岩根 上田 上野 上村 鶴尾 氏丸 卜部 大字 太田 大坪 尾崎 勘木 鈴木 高野 田上 立花 長岡 中村 原 藤谷 藤原 水田 宮崎 宮本 山田 吉岡 吉原



### カンボジアからマレーシアへの移民について



兵庫県立国際高等学校 (1年2組「カンボジアからマレーシア」班)

#### カンボジアからマレーシアへの人口移動の推移



年	男性	女性(工)	女性(家)	合計
1999年	86	82	0	168
2000年	393	437	0	830
2001年	842	582	1008	2432
2002年	1141	2114	3360	6615
2003年	8114	0	0	8114
2004年	0	0	11918	11918

山田和美編『東アジアにおける人の移動の法制度』調査研究報告書 JETROアジア経済研究所2012年3月

#### カンボジアからマレーシアへの移民マップ



年	カンボジア	マレーシア
2007年	3,219	174
2008年	3,432	53
2009年	9682	876
2010年	16394	2522

#### 移出の要因

##### カンボジアの内戦

ロン=ノル政府軍

VS

シハヌーク旧政府軍

VS

赤色クメール

アメリカ

中国

協力

シハヌーク旧政府軍

VS

クメール=ルージュ

Lose

Win

ロン=ノル政府軍

ボルボト政権

民主カンボジア

VS

連合政権

シハ=ヌーク支持派

ボル=ボト派

ハン=サン派

VS

ハン=サム 政権

終結

#### 移入の要因

##### 政治的要因と経済的要因

＜イギリスによる民族分断的な就業構造＞

##### マレーシアの主要3民族

- 中国系→植民地時代(高度職)→現在(商業)
- マレー系→植民地時代(小農・下級官吏)→現在(政府)
- インド系→植民地時代(肉体労働)→現在(製造)

##### プミトラ政策=マレー人優遇政策

※・・・雇用・教育機会、農業での土地所有においてマレー人を優先すること。

- ・マレー人の高学歴化
- ・高度職に就職
- ・不熟練、単純労働が不足

- 外国人労働力の導入
- 海外からのインフラ整備の投資

#### 考察

カンボジア

- ・内戦
- ・ボル=ボト政権による内政不安→社会混乱
- ・経済の停滞


マレーシア

- ・民族分断的な社会構造
- ・マレー人優遇政策
- ・マレー人の高学歴化→単純労働力の不足


☆特に家事労働者の受け入れを進めた

## 移民マップ「フィリピンからオーストラリア」

3 組 秋月 有田 アルトマン 池田 石橋 石原 岩津 梶丸 川端 衣笠 木村 黒田 小林 小峰 澁谷 高階 高田  
竹森 長岡 中原 中水 西村 バスコロ 畑 福井 福村 富士井 松井 松浦 松本 丸尾 森 山本 代末 肥後

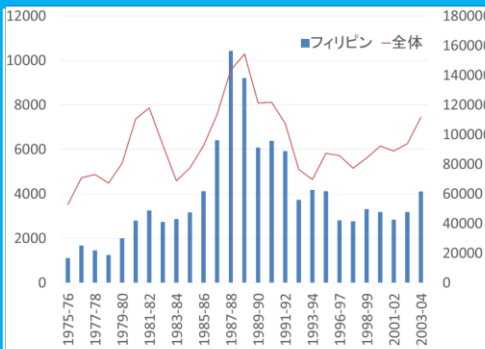


### フィリピンからオーストラリアへの移民研究



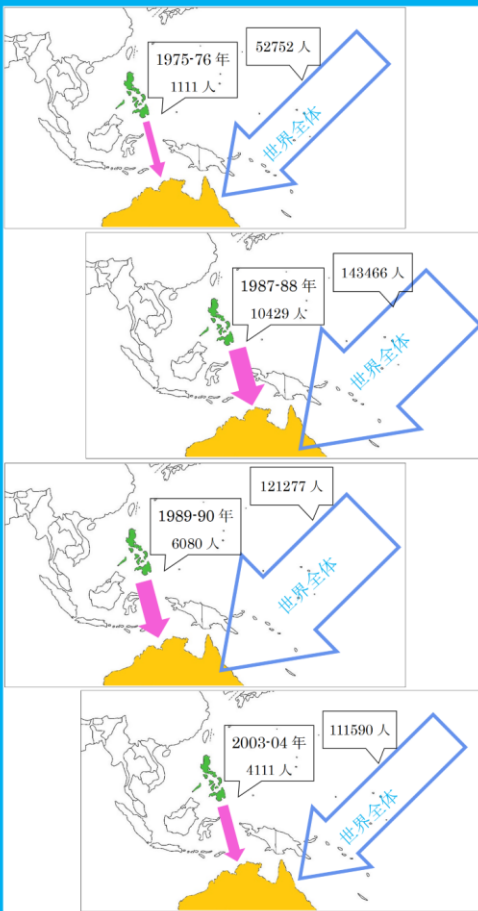
兵庫県立国際高等学校 (1年3組「フィリピンからオーストラリア」班)

#### フィリピンからオーストラリアへの人口移動の推移 (1975~2004)



Australian Government Department of Immigration and Border protection (2016)とCommonwealth of Australia (2004)を改変

#### 移民マップ



#### 移出の要因

① 政策

マルコス政権下の1974年。(OEDBとNSBの創設) → 新労働法  
 → 1982年 BES, OEDB, NSB 統合 → POEA  
 → 1987年にアキノ政権 POEA 権限強化

なぜ、海外に労働者を送る事業が始まったのか?  
 → 中東の石油輸出国が、原油価格を大幅値上げしその資金で国造りをするのに大量の技術と労働者が必要だった。  
 この時期、技術者、労働者が国内的供給過多になっていた。また、海外の労働者の送金額を大きくして、対外債務を減らす方針だったため。

② 国内の経済状況

(国内の雇用が少なく失業率が高い要因)

- ・人口増加率が高い
- ・外国からの直接投資 (FDI) が少ない
- 製造業が発展していない

(社会格差 → 富裕層と貧困層の格差が、どのように海外に労働者を送り出す原因になっているか?)

富裕層と貧困層に二極化

↓

- ・富裕層 (高学歴) → 国際機関などへ
- ・貧困層 (教育を受けていない人) → ハウスキーパー、家事労働者

#### 移入の要因

① 白豪主義から多文化主義へ  
 白人(特にヨーロッパ系移民)の社会や文化が優遇される白豪主義  
 …1901年の移民制限法 (=白豪主義政策) によりアジア、アフリカ系の移民が制限

第二次世界大戦を経て、政府や民衆への影響が薄まり、1972年に撤廃

② 白豪主義以降の移民政策  
 1950~60年 → 永住ビザを所持する外国出身の移住者  
 …「技術移民」「家族移民」の2カテゴリーに分け、優れた技術を持つ移民を家族ごと引き入れる

1990年代 → 永住しない「一時的移民」も増加  
 …移民という枠に多様性を持たせる

現代のオーストラリア…移民の受け入れを推奨し、多民族国家として人種性別や文化を問わずすべての国民に平等な権利が与えられている。

#### 考察

海外から直接投資が少ない

製造業が発展していない

国内の雇用が少ない

→

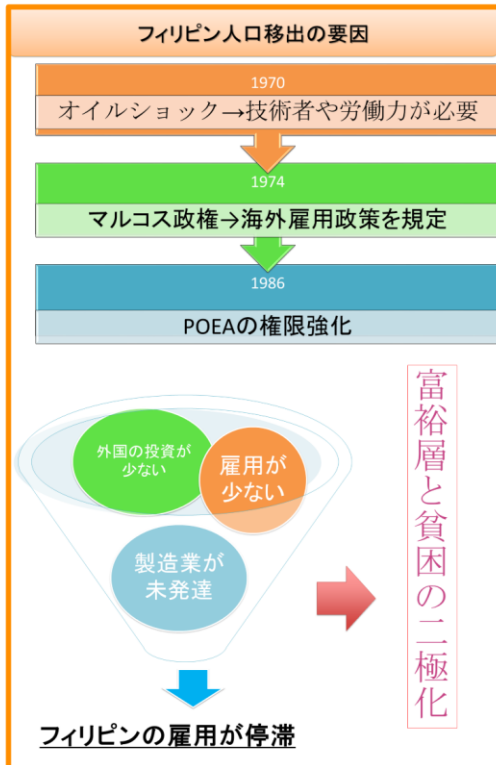
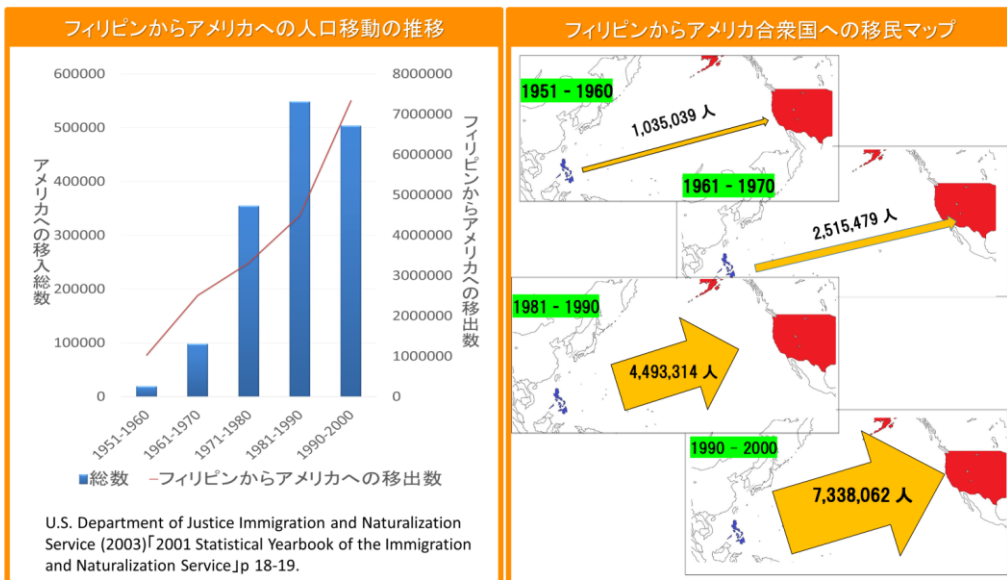
移民

## 移民マップ「フィリピンからアメリカ合衆国」

フィリピンスタディーツアーメンバー 伊藤 岩谷 後藤 貞好 清水 清間 谷本 平田 太田 曾根 高橋 高見  
春山 溝手 今井 西條 谷口 前田 前畑 矢野

### フィリピンからアメリカ合衆国への移出に関する考察

兵庫県立国際高等学校 (フィリピンスタディーツアーメンバー「フィリピンからアメリカ」班)



#### 移入の要因

##### アメリカへの人口移入の要因

【アメリカの移民政策の変遷】

「アメリカの移民政策」とは  
必要になると国外から移民を導入し、その数が増え既存の国内労働者との間に軋轢が生まれると排斥、そして再び新たな移民を導入、やがて排斥、という導入と排斥を交互に繰り返す移民政策。

**I : 1840年ごろまでの入植者**  
イギリス  
イギリス人 (ピューリタン、プロテスタント)  
オランダ人、スウェーデン人、ドイツ人、フランス人

**II : 1840年以降の移民**

- アイルランド人
- 南ヨーロッパ (イタリア、ギリシャ)
- 東ヨーロッパ (ポーランド、ロシア)
- ユダヤ人

**III : アジアからの移民**

- 中国人→中国人排斥法 (1882年)
- 日本人→紳士協定 (1907年)
- 1924年 移民の禁止

<1924年移民法制定の解説>  
アジア諸国からの移民は全面的に禁止。

**IV : メキシコからの移民**

- 第二次世界大戦による労働力不足
- プラセロ計画→一時的農場労働者としてメキシコ人を導入
- 不法移民の発生

1924年移民法  
・アジア諸国からの移民は全面的に禁止。

1965年新移民法  
・移民受け入れ数をすべての国に対して平等とした移民法が制定  
・「アメリカ移民の出身国別割当制度」を廃棄

1986年移民改革管理法  
・アメリカ史上初めて不法移民であることを承知の上で人を雇った雇用者への罰則が法制化  
・一定期間不法にアメリカに居住していたことを証明できた移民への恩赦が実施

